

使用した辞書類: J-Doradic

行番号	読んだ素材		協力者の発言内容		データ収集者の発言内容	備考
	ページ	文章	発言	日本語訳		
1		日本の音楽の種類	มันก็เป็นประเภทของ ดนตรีญี่ปุ่นนี่ละ	これは日本音楽、の種類じゃないですか。		
2					うん。	
3		雅楽(がく)	มันก็คือ กากู(日本語で発音する) เป็นชื่อประเภทไทยนะ	はじめは、「がく」、種類の名前でいいですか。		
4		雅楽とは、宮廷音楽のことです	雅楽(日本語で発音する) ก็คือ เป็นดนตรีในราชสำนัก	「雅楽」というのは、宮廷における音楽です。		
5		(宮廷一天皇陛下のいらっしゃる場所)。	[括弧の中を黙って読む。] ตรงที่คือมีนายราชราชสำนักคือที่ ๆ จักรพรรดิอาศัยอยู่ นั่นก็	[括弧の中を黙って読む。] このところで説明があるのは、宮廷というの、天皇が住んでいる場所です、それから。		
6		1000年以上の歴史があり、現在では宮内庁の楽部(がくぶ)で行われています。	[「1000年以上の歴史があり」の部分黙って読む。] มีประวัติอันยาวนานมากกว่าหนึ่งพันปี [「現在では宮内庁の楽部(がくぶ)で行われています」の部分黙って読む。] มี ลอนนีใน ราชวัง กัก กู ๆ ก็คือดนตรีในราชสำนัก โดย กัก กู(日本語で発音する) มันหมายถึงฝ่ายดนตรี มีนะ มันหมายถึงในราชวัง	[「1000年以上の歴史があり」の部分黙って読む。] 1000年以上の長い歴史があります。[「現在では宮内庁の楽部(がくぶ)で行われています」の部分黙って読む。] うーん、今、申し、いまだに宮内庁にこの音楽が催されます。「がくぶ」によって、これが意味しているのは音楽の部隊じゃないですか、宮内庁の音楽の部隊のような。		うん。
7						
8			คือก็คือ 雅楽(日本語で発音する) อันภาคจาก นายราชราชวังอย่างนั้นละ แล้วยัง	はい、それで、雅楽(日本語で発音する)が催されます。そのようにことを意味していると思います。それから。		
9		雅楽は、日本に昔からある歌や踊り(舞)と、アジア大陸から伝わった音楽などが混ざり合って出来た音楽です。	雅楽 雅楽(日本語で発音する) เป็น [「日本に昔からある歌や踊り(舞)と」の部分黙って読む] เป็น อัน แผลงหรือการนำเอา เช่นระบำของศรีลังกาหรือระบำพื้นเมืองมาผสม [「アジア大陸から伝わった音楽などが混ざり合っ出来た音楽です」の部分黙って読む。] เป็น ดนตรีที่ เออ สำหรับมาจากกรรมกรของ ดนตรีใน ราชวังนั่น อัญ[タイ語的に発音する] มีนะ คือว่านายราชราชวังอย่างนั้นละ	「雅楽、雅楽」は[「日本に昔からある歌や踊り(舞)と」の部分黙って読む] は、あー、歌か踊り、からの踊り、日本の昔からのです。[「アジア大陸から伝わった音楽などが混ざり合っ出来た音楽です」の部分黙って読む。] 音楽です、えーと、合わせることから作り上げられた、音楽、うーん、[「タイ語的に発音する」大陸中の、じゃないですか、そのように意味していると思います。]		
10		雅楽は音楽と声楽の2種類あります。	[文全体を黙って読む。] โอ้ งาม กากู(日本語で発音する) ก็แบ่งออกเป็นสองประเภทโดยมีเป็น แบบที่เป็นเครื่องดนตรีกับแบบที่เป็นเสียงร้อง	[文全体を黙って読む。] あー、「がく」というのは、さらに二つの種類に分けられ、楽器のタイプと、歌声のタイプがあります。		
11					ふーん。	
12			เครื่องดนตรี[黙って何かを考えている] มี อัน คำนี้[「音楽」のこと] ไม่ใช่เครื่องดนตรีแล้ว คำว่า ๆ หรือแปลว่า	楽器は[黙って何かを考えている]、あつ、あつ、このことは[「音楽」のこと] 楽器じゃない、あつ、あつ、でもよく似てるんじゃないでしょうか。		
13					うん。	
14			คือมัน เป็น 楽器(日本語で発音する) มันก็เป็น 雅楽(日本語で発音する) ก็คือแบ่งเป็น 雅楽(日本語で発音する) กับ 声楽(日本語で発音する)	「楽器」のはずです。これは、「雅楽」、つまり、「雅楽」と「声楽」に分けます。		
15					はい。	
16		●雅楽(がく)・・・楽器を演奏する音楽です。	คือ โดยที่ 雅楽(日本語で発音する) (เดิมเป็น [「楽器を演奏する音楽です」]の部分黙って読む) เป็นดนตรีที่ เออ แลสอง แลสองตัวเครื่อง ดนตรีประเภทนั้น	はい、「雅楽」によって、ですね[「楽器を演奏する音楽です」]の部分黙って読む。音楽は、えー、演奏する、楽器を使った生演奏をする、だいたいそんなです。		
17					うーん。	
18		以下の2種類があります。	แล้วก็มีมีย่อยเป็นอีกสองประเภทค่านล่าง	それから、さらに以下の2種類に分けます。		
19		・管弦(かんげん)→中国から伝わった音楽がもとになっています。	ก็คือ ก้านเจี้ยน(日本語で発音する) คือ [「中国から伝わった音楽がもとになっています」]の部分黙って読む。] เออ ก็คือดนตรีที่คือ ดนตรีที่มาจากประเทศจีนเป็นหลัก	それは、「かんげん」です。[「中国から伝わった音楽がもとになっています」]の部分黙って読む。] えーと、つまり、つまり、中国から来た音楽を柱としています。		うん。
20						
21		・舞楽(ぶがく)→おもに中国と朝鮮半島から伝わったものがあります。	ส่วน ぶ่กัก(日本語で発音する) คือ [「おもに中国と朝鮮半島から伝わったものがあります」]の部分黙って読む。] เออ [黙って何かを考えている。] มันนี้ [「朝鮮半島」のこと] ไม่ใช่จีนมันเป็นเกาหลีอะ	「ぶがく」については[「おもに中国と朝鮮半島から伝わったものがあります」]の部分黙って読む。] えーと、[黙って何かを考えている。]これ[「朝鮮半島」のこと]が何の島なのかははっきりしません。		うん。
22						
23		เผื่อเวลา [「朝鮮半」をコピーして、プラウザの別のタブでJ-Doradicを開き、検索バーに貼り付けて検索すると、「ちょうせんはんどう」との読みと、「เกาหลี」の意味が示された。] เออ [「朝鮮半島」のこと] 的意思が示された。] เออ [笑う。] เออ はい[日本語で発音する] มี อัน เกาหลีแบบที่ รวมทั้งเกาหลีเหนือและเกาหลีใต้อีก นะ มันก็จะแยกกัน	ちょっと誤りに、「朝鮮半」をコピーして、プラウザの別のタブでJ-Doradicを開き、検索バーに貼り付けて検索すると、「ちょうせんはんどう」との読みと、「เกาหลี」の意味が示された。] えっ、[笑う。] ああ、「はい」、ああ、朝鮮、北朝鮮と南朝鮮を合わせているんじゃないですか、分難前の。			うん。
24						
25			คือก็คือเป็น 文全体を黙って読む] ดนตรีที่ นำเข้ามาซึ่งก็มาจากทางจีนแล้วก็เกาหลีอะ	はい、つまり[文全体を黙って読む] 音楽は、おそらく、中国と朝鮮からの影響を受けたんですね。		
26					ふーん。	
27			แล้วก็	それから、		
28					どうことは、えっと、楽器は中国と朝鮮からしか伝わっていないということですか。	
29			คือว่าน่าจะ หมายถึงอย่างนั้นละ เออ น่า ๆ จะรับ อิทธิพลด้านดนตรีมาจากจีนกับเกาหลีอะ	おそらくはそうですね、そのように意味していると思います。えー、きっと音楽の側面では中国と朝鮮から影響を受けたんです。		
30					ふーん。	
31		●声楽(せいがく)・・・歌の曲です。	声楽(日本語で発音する) เออ ส่วน 声楽(日本語で発音する) ก็คือเป็นเพลงสำหรับ ร้องนะ	「声楽」、えー、一方、「声楽」は歌うための曲です。		
32					うん。	
33			มันนี้[「声楽」のこと] น่าจะเป็น [文字を黙って見つめている] ชื่อประเภท	これは[「声楽」のこと]きっと[文字を黙って見つめている]種類の名前です。		
34					声を楽器のひとつと捉えているのではないのですよね？	
35			เออ[文字を黙って見つめている。] มัน อาจจะ คือว่าอาจจะเป็นอย่างนั้นอะ	えっと、[文字を黙って見つめている。]うーん、たぶん、たぶんそうだろうと思います。		
36					ふーん。	
37			ฟังอย่างเดียวโดยที่	歌うだけです。		
38					へー。	

39		โมติเรอของดนตรีประกอบหรือเปล้า คือว่าบางอันก็	楽器とは合わせないで、じゃないでしょうか。そのように思います。	
40	・久米歌(くめうた) ・神楽歌(かぐらうた)	ก็คือแบ่งประเภท เช่น แบ่งประเภทเป็น (くめうた) かぐらうた かぐらうた[日本語で発話する] มี น่าจะ คล้าย ๆ ที่เป็นประเภท かぐら[日本語で発話する] หรือเปล้าคือ คำว่า	種類を分けると、えっと、「くめうた、かぐらうた、かぐらうた」に分けられ、これ、きっと、似ています。から[日本語で発話する]の真、じゃないでしょうか、そう思って、「笑う。」	
41				ああ。[笑う。]
42	・黒遊び(あずまあそび) ・能楽(さいばら) ・朝歌(あさうた) などの種類があります。	แล้วก็ あずまあそび、さいばら、ろうさい[日本語で発話する] ก็คือแบ่งประเภท เป็น ประเภทต่างต้นแบบ	それに、「あずまあそび、さいばら、ろうさい」というのは上にある種類の種類分けですね。	
43				うん。
44		คำว่า น่าจะมีมากกว่านี้คือ	でも、これよりもっとありそうですね。	
45				そうですか。
46		[笑う。] ใน ประเภทเหล่านี้มีทั้งคำว่า かぐら[日本語で発話する] คือ[笑う。]	[笑う。]この、これらの種類の中で知っているのは「かぐら」だけです。[笑う。]	
47				[笑う。]
48		ส่วน	一方。	
49				どうやって知ったんですか。
50		อะไรนะ	何ですか。	
51				どこから知ったんですか、神楽を。
52		รู้จัก รู้จักจาก สื่อ อาจจะเป็นคนที่เรียนวิชา	知っています、どこから知ったかは、うーん、科目を学んでいるときかと思います。	
53				へー。
54		ประวัติวรรณคดีคือ แล้ว ก่อน ๆ ก่อนหน้าอันที่เคยเห็นจาก cartoon[タイ語において外来語に当たる。「アニメ」「マンガ」のいずれにも使うこと]は[มาก]	文学の歴史です。でも、前、その前にも「cartoon」(タイ語にない外来語)に当たる。「アニメ」「マンガ」のいずれにも使うこと[は]で先に見たことが。	
55				おお。
56		แล้วคือ	ありますね。	
57	声明(しょうみょう)	ส่วนอันนี้เป็น しょうみょう[日本語で発話する]	一方これは、「しょうみょう」。	
58	声明とは、仏歌のお経にメロディーをつけて歌にした音楽です。	ก็คือ しょうみょう[日本語で発話する] ก็คือ [「仏歌のお経にメロディーを」]の部分を黙って読む] คือ [「つけて歌にした音楽です」]の部分を黙って読む] เป็นดนตรีที่[黙って何かを考えている] เมื่อ ไม่ พยายามเข้าไปในคำสอนของศาสนาพุทธคือ	えー、「しょうみょう」とは[「仏歌のお経にメロディーを」]の部分を黙って読む]、うーん[「つけて歌にした音楽です」]の部分を黙って読む]、は音楽です[黙って何かを考えている]。えー、仏歌の教えにメロディーを入れました。	
59				ふーん。
60	声明はインドから伝えられ、日本には奈良時代に伝わりました。	[文全体を黙って読む。] คือ ซึ่ง しょうみょう[日本語で発話する] เนื่องจาก India[タイ語的に発話する] แล้วก็น่าจะ มา แรกสุดในญี่ปุ่นตอนสมัย 奈良[タイ語的に発話する]	[文全体を黙って読む。]うーん、で、「しょうみょう」はですね、「India」[タイ語的に発話する]から来て、入りました。おそらく「奈良」[タイ語的に発話する]時代に日本に広まってきた。	
61				ふーん。
62	声明には、 ●インド古いことばである梵語(ぼんご)	คือ しょうみょう[日本語で発話する] ก็คือ [「インド古いことばである梵語(ぼんご)」]の部分を黙って読む] เมื่อ เป็น คำว่า ぼんご[日本語で発話する] น่าจะมาจากต้นกำเนิด ที่ว่าคำคำนี้มาจากภาษาสันสกฤตคือ เป็นคำ หรือภาษาที่ ไม่ใช่คำต้นกำเนิดของ India[タイ語的に発話する] คือ	それで、「しょうみょう」は[「インド古いことばである梵語(ぼんご)」]の部分を黙って読む]。えー、です。「ぼんご」はおそらくはどなか、語や言語に 関したものを意識しているんじゃないかなと思います。つまり、語や言語ですね。「India」[タイ語的に発話する]の古い時代に使っていたことばを使っています。	
63				はい。
64	●中国の古いことばの漢語(かんご)	แล้วก็ มีคำคำจีนที่คำ ภาษาจีนที่มาจาก เมื่อ คำศัพท์จีนเก่า ๆ คือ	それから、中国の字があります。中国語から来た。えー、古い中国のことばです。	
65				うん。
66	●日本語で歌われる、3種類があります。	แล้วก็ที่ที่เป็นภาษาญี่ปุ่นแล้วคือ ก็แบ่งเป็นสาม ประเภท แบ่ง แบ่งออกเป็นสามประเภทคือ	それに、日本語もあります。つまり、3種類に分けられます。取っものも3種類に分けます。	
67	声明には楽器を使用しません。	คือ [文全体を黙って読む。] คือ เขามองว่า しょうみょう[日本語で発話する] เมื่อ ไม่ใช้เครื่องดนตรี คือ ยังไม่มีเนื้อก็เลยไม่ไปใช้หรือเปล้า [笑う。]	うーん、[文全体を黙って読む。]ああ、ここで言っているのは、「しょうみょう」がですね、楽器を使いません。そのため、先ほどの使っかはっきりしませんでした。[笑う。]	
68				[笑う。]
69		คือ แล้วพอตรงนั้นก็ว่าอันนี้ไม่ใช่ แต่อันนี้คือ ไม่ใช่	はい、でもこのころでは、これは使わないと言っています。でもさっきのは言っていました。	
70				ああ。
71		คำว่า อันนี้คืออาจจะใช่คือ	さっきのはたぶん使うと思います。	
72	一人、または二人以上のお坊さんによって歌われます。	[文全体を黙って読む。] คือ ก็คือจะขับร้องโดย พระ พุทธสงฆ์ผู้ตนหรือคนอื่นไม่ใช่	[文全体を黙って読む。]うーん、つまり、僧によって歌われます。一人か二人以上の僧侶です。	
73	能(のう)	อันนี้คือจะ 能[日本語で発話する] คือ	これは「能」劇です。	
74	能とは、劇・舞・音楽からなります。能楽(のうがく)とも呼ばれます。	ละคร 能[日本語で発話する] เป็นละครหรือก็คือ อันนี้[「舞踏」のこと] คือการรำขานบทที่มักจะ แล้ว ก็ [「音楽」からなります。能楽(のうがく)とも呼ばれます]の部分を黙って読む] คือ เหมือนประเภท วรรณคดี 能[日本語で発話する] มาจาก การ แสดงละครที่ขานบทแล้วก็กินตรึกา ปรากฏบทพูดเป็น แล้วก็คือว่า 能楽[日本語で発話する]	「能」劇は劇と、これは[「舞踏」のこと]舞台で踊ることじゃないですか。それから[「音楽」からならず]、能楽(のうがく)とも呼ばれます]の部分を黙って読む]。ああ、なんというかおおよそところが「能」劇は来ました。舞台の上の劇と劇、それに音楽から組み立てられました。それ、それから「能楽」と呼ばれます。	
75				能と能楽とは関係しているんですね。
76		อะไรนะ	何ですか。	
77				能と能楽とは同じものですか。
78		คือ 能[日本語で発話する] กับ 能楽[日本語で発話する] คือ เมื่อ พออ่านแล้วก็ คำว่าไม่ต่างอะไรคือ แล้วทำไมถึงต้องแยกเป็นสองคำไม่เข้าใจเหมือนกันคือ	ああ、「能」と「能楽」は、うーん、えーと、読んでたどろどろで違ふように思われます。でも、なぜ二つのことばに分ける必要があるのかははっきりしません。	
79				はい。
80		คือ แต่คำว่า อัน อาจจะเป็น คำว่าคำว่า 能[日本語で発話する] อาจจะเป็นบทละคร 能[日本語で発話する] แต่ 能楽[日本語で発話する] คือ การแสดงละคร 能[日本語で発話する] หรือเปล้า อันนี้ไม่เข้าใจเหมือนกันคือ[笑う。]	ふー、でも思うには、ああ、おそらくですが、「能」ということばは「能」劇を指すのではないのでしょうか。でも、「能楽」というのは「能」劇を演じることじゃないでしょうか。これははっきりしませんけれど。[笑う。]	
81				[笑う。]はい。
82		ไม่ ไม่เข้าใจว่าต่างกันอย่างไรคือ	ちが、どのように違ふのかははっきりしないんです。	

83				わかりました。
84	歌いながら演技をする人を立方(たちかた)、楽器を演奏する囃方(はやく)によっておこなわれます。	[[歌いながら演技をする人を立方(たちかた)]の部分を整って読む]。例 こんどはあつたよ [[楽器を演奏する囃方(はやく)]によっておこなわれます]の部分を整って読む] かつ [[立方(たちかた)]の部分を整って読む] かつ [[囃方(はやく)]の部分を整って読む] かつ [[立方(たちかた)]の部分を整って読む] かつ [[囃方(はやく)]の部分を整って読む] かつ	[[歌いながら演技をする人を立方(たちかた)]の部分を整って読む]。例 こんどはあつたよ [[楽器を演奏する囃方(はやく)]によっておこなわれます]の部分を整って読む]。つぎ述べていきます。「はやく」は、囃方(はやく)のこと。「たちかた」という歌を取う人も囃方(はやく)のことです。そうして、一緒に歌を演奏します。	
85	立方の主役はシテとよばれます。	[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
86	シテは演じる役に合わせて面(おもて)をつけます。	シテ[日本語で発話する] かつ [[演じる役に合わせて面(おもて)をつけます]の部分を整って読む] かつ シテ[日本語で発話する] かつ [[演じる役に合わせて面(おもて)をつけます]の部分を整って読む] かつ	シテ]は、[[演じる役に合わせて面(おもて)をつけます]の部分を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
87	能の曲には5つ種類があります。	[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
88	立方のシテの役により種類が分けられます。	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
89	●シテが侍一筋能(わきのう)。おめでたい内容	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
90	●シテが武士の重一修羅物(しゅらもの)。	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
91				うん。
92	死後の苦しみを語る内容	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
93	●シテが女性の幽霊一霊物(からすもの)。恋愛の思い出を語る内容。	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
94	●シテが人や霊など色々変わるもの一霊物(ざつもの)。	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
95	内容も色々あります。	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
96				[[笑う。]
97				
98	●シテが鬼・天狗一切能(きりのう)。	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
99	動きが大きく初めの人にも分かりやすい内容。	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	[[文全体を整って読む]。例 さんどんてんがシテ[日本語で発話する] かつ さんどん	
100				うん。
101	などがあります。			
102	浄瑠璃(じょうり)			
103				ふーん。
104	浄瑠璃とは語り物音楽の1つです。			
105	三味線の伴奏で語られます。			
106				ふーん。
107				
108	浄瑠璃にはいろいろな流派があり、現在よく知られているのは、以下の4種類です。			
109				うん。
110				
111				ということ、実際にはそれ以上あるということですね。
112				
113				うん。
114				
115				はい。
116	●義太夫節(ぎだゆうぶし)。			

154	●新内節(しんないふし)	しんないふし[日本語で発話する] 詞	「しんないふし」というのは、	
155	江戸時代の中ごろに鶴賀新内(つるがしんない)という人物がはじめた浄瑠璃です。	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
156				うん。
157	もともとは歌舞伎に使われていたが、のちに観賞用の音楽となりました。	[[もともとは歌舞伎に使われていたが]の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	[[もともとは歌舞伎に使われていたが]の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
158				うん。
159		浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	でも[[のちに観賞用の音楽となりました]の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
160				うん。
161		浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	まあ、この種類の音楽によってかわって、それから、	
162	悲しみ、あわれみの心を表現した歌の部分が浄瑠璃です。	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
163				うーん。
164		浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	んー、表れることがかなり多いですね、この種類の「浄瑠璃」の中で、	
165				はい。
166	長明(ながうた)	浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	それから、続いての種類はというと、「ながうた」、	
167	長明とは、歌い物音楽の1つで、三味線で演奏します。	長明[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	「長明」というのは[[歌い物音楽の1つ]の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
168				ふーん。
169	始めは歌舞伎のための音楽でした。	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
170	のちに歌舞伎に関係なく作曲されるようになりました。	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	[文全体を黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
171	長明は明るい声で歌われるので、それに合わせて三味線も軽やかな音色で演奏されます。	浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	それで、「長明」は[[明るい声で歌われるので]の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
172				[笑う。]
173		浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	明らかな声じゃないですか、それから[[それに合わせて三味線も]の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
174				[笑う。]
175		浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	助です。	
176				うん。
177				同じくはつきりしません。
178	長明には3種類あり、	浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	うーん、「長明」については、3種類に分けます。すなわち、	
179	●歌舞伎の語りのための曲・・・「娘道明寺(むすめどうみょうじ)」	浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	のための曲、語ることで、舞う、それと一緒に歌います。	
180				うん。
181		浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	で、語るための曲を、「むすめどうみょうじ」、あ、「どうみょうじ」と呼びます。「むすめどうみょうじ」、それから、	
182				それは名前ですか。
183			おそらく名前だと思います。	
184				ふーん、名前ですか。
185			名前、種類の名前じゃないでしょうか。	
186				はい。
187			きつと。	
188	●セリフが入る歌舞伎のための曲・・・「勘定帳(かんじちょう)」	浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	えーと、二つ目については、「セリフが入る」、曲です。歌って舞うための話すことばが入った曲なんじゃないですか。突っ込んで、中に入れて、「かんじちょう」と呼びます。それから、	
189	●歌舞伎と関係ない曲・・・「番茶八景(あずまはっけい)」	浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	3種類目はどういうか[[歌舞伎と関係ない曲]の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
190				うん。
191	などがそれぞれ有名な曲です。	[「などがそれぞれ有名な曲です」の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	[「などがそれぞれ有名な曲です」の部分黙って読む。] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する] 浄瑠璃[日本語で発話する]	
192				ああ。
193			同じくはつきりませんが、この部分で述べているのを見た、からです。	
194				うん。
195			はい、おそらくたいいそうしたことだと思います。	

196					それで、「長明」は「長い」と関係がありますか。
197		ん 俺も聞かないよ	うーん、説明してなかったよう。		
198				うん。	
199		それと 俺も 長い時間 俺も 長い時間 長い [日本語で発話する]	ですから、えーと、「長い」とことつながりが見えませんが。		
200				うん。	
201		あの曲は 俺も 長い時間 俺も 長い時間 長い [日本語で発話する]	この種類の曲からは、どういのは、説明されていなくて、曲が長いのか短いのかどうなのか。		
202				ああ。	
203		俺も 長い時間 俺も 長い時間 長い [日本語で発話する]	ですので、つながりがあるように思いますが感じません。		
204				はい。	
205	尺八音楽(しゃくはちおんがく)	ん 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	はい、聞いてのものは「しゃくはちおんがく」です。		
206	尺八音楽とは、尺八を使った音楽のことです。	しゃくはち しゃくはちおんがく [日本語で発話する] 尺八 [尺八を使った音楽のことです] の部分を黙って読む [しゃくはち [日本語で発話する] 俺も聞かないよ] しゃくはち [日本語で発話する] 俺も聞かないよ	「しゃくはち、しゃくはちおんがく」というのは「尺八を使った音楽のことです」の部分を黙って読む。「しゃくはち」は、「しゃくはち」を使った音楽、この「しゃくはち」は、おそらく音です。		
207				ふーん。	
208		俺も 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	えー、この種の音楽器なんですか、[文章の上にある木管楽器の挿絵を指さす。] 俺も聞かないよ		
209	他の楽器を合わせることもあります。	俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	「がきを」でもほかの種類楽器を持ってきて合わせて使うこともあります。したがって、おそらく意味するのはこの種類の吹くタイプの楽器ですよ[文章の上にある木管楽器の挿絵を指さす。] 「尺八」ということは、それから。		
210	江戸時代にお坊さんが、お経を上げるかわりに尺八を吹いたのははじまりです。	江戸時代にお坊さんが [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	江戸時代にお坊さんが [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]		
211	当時は一般の人は吹くことができませんでした。	俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	一方「当時は」を黙って見つけている、うーん、同時に「一般の人は吹くことができませんでした」の部分を読んで読む、一般の人は吹くことができませんでした。「笑う。」は「これは何を意味しているのかははっきりしません。」		
212					吹くと言っているのは楽器をですか。
213		俺も聞かないよ [日本語で発話する]	何ですか。		
214					吹くと言っているのは楽器をですか。
215		俺も聞かないよ [日本語で発話する]	おそらく意味しているのは吹く、グループで吹くのじゃないですか、というのは、どうも一人で吹くのはできないのでしょうか。		
216				うーん。	
217	明治時代になってから誰でも吹ける楽器として広まりました。	俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	それから、「明治」[タイ語的に発音する] 時代には「誰でも吹ける楽器として広まりました」の部分を読んで読む、ああ、これこれ、これが意味するのは「ひとつ前の文章の解釈の変更」、ああ、一般の人が吹けません、でも、俺も吹けたんじゃないですか。		
218				うーん。	
219		俺も聞かないよ [日本語で発話する]	ですが「明治」[タイ語的に発音する] 時代に入ると、だれであっても、だれでも吹ける楽器になりました。つまり、それは広まりました。えー、より広範囲に広がっていききました。		
220					おお。
221		俺も聞かないよ [日本語で発話する]	きつとだいたいそうです。		
222					はい。
223	●唐音(きょい) ●唐の遠音(しかのおね) ●岩清水(いwashimizu) などが有名な曲です。	俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	それから、有名な曲という、「きょい」しかの、「おね」、それ、「いwashimizu」です。うーん。		
224	華曲(そうきょく)	俺も聞かないよ [日本語で発話する]	一方、これは、「そうきょく」。		
225	華曲とは華(こと)を使った音楽です。	俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	「華曲」というのは、えー、使う音楽です。「こと」[タイ語的に発音する] の楽器を強く音楽です。「華」。		
226					うん。
227	華は中国からつたった楽器で、華(こと)とは少し違う楽器です。	俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	うーん、「こと」というのは「中国からつたった楽器で、華(こと)とは少し違う楽器です」の部分を読んで読む、ああ、これは中国から受け入れた楽器です。それで、「華」と少し違って、同じく、「こと」と呼ぶ、のですか、でも使う「漢字」は異なりますから。		
228					ああ。
229		俺も聞かないよ [日本語で発話する]	きつと異なるものでしょう。もしこの、「こと」が中国から受け入れたものなら。		
230					ああ。
231		俺も聞かないよ [日本語で発話する]	おそらく古事とかの類とだいたい似ているんじゃないかと思えます。勘です。		
232					はい。
233		俺も聞かないよ [日本語で発話する]	ああ、それは日本の「華」とは同じではありません。		
234					うん。
235	華は雅楽の演奏にもつかわれますが、それは華曲とはよほど違います。	俺も聞かないよ [日本語で発話する] 俺も聞かないよ [日本語で発話する]	それで、中国から受け入れた。「こと」をですね、「雅楽の演奏にもつかわれます」の部分を読んで読む、[「雅楽」の「こと」] 何を意味するのかわかりません。		
236					うーん。

237		ด้วยเหมือนกัน เมื่อ ไม่ในการแสดงจนเห็นตัว [「それは事曲とはよばれません」の部分を読んで 読む] ևրա չեմք ինչպես ինքնին [「それは事曲とはよばれません」の部分を読んで 読む] 事曲[日本語で発話する] ևր չեմք չեմք 見聞きして 事曲[日本語で発話する] ևր չեմք	それも同じく。えーと、音楽の演奏に使いますが [「それは事曲とはよばれません」の部分を読んで 読む] でも呼びません、そのものを呼びしま せん[「それは事曲とはよばれません」の部分 を読んで読む]、「事曲」とは、これは「事曲」とは呼 ばないんじゃないですか。		
238				うーん。	
239		ถึงแม้ว่าสิ่งนี้ [日本語で発話する] คำนี้แสดง เหมือนกัน [「事」が「事曲」の「事」と同じ字を使っていること を指摘している]	たえ、この「こと」が同じものを表すのだとしても [「事」が「事曲」の「事」と同じ字を使っていること を指摘している]。		
240	事曲には以下の二つの流派があります。	อันนี้ก็จะเปรียบเทียบกันนะ	これはおそらく音楽の種類ですね。		
241				はい。	
242		แล้ว[文全体を黙って読む] ก็ 事曲[日本語で発話する] เหมือนแบ่งเป็นสอง สำนักหรือสองสายหรือสองประเภทก็คือ	それから[文全体を黙って読む]、んー、「事曲」は 二つの曲か二つの派か2種類かに分けられま す。それは、		
243	●生田流	ไม่แน่ใจว่าอ่านอะไรนะก็คือสายของ いけだ[「生田」を読もうとしている] หรือแปลว่า せいだ[「生田」を読もうとしている] ไม่แน่ใจนะ	なんと読むかはっきりしません。「いけだ」[「生 田」を読もうとしている]派でしょうか、それが、「せ いだ」[「生田」を読もうとしている]、はっきりしま せん。		
244				うん。	
245	江戸時代に関西を中心にひろまりました。	ก็สายนี้จะเป็นที่[文全体を黙って読む] คือ เป็น สายที่แพร่หลายไปแถบ 関西[タイ語的に発音する] เพราะฉะนั้นคือ 江戸[タイ語的に発音する] นะ แล้วก็	まあ、この派は[文全体を黙って読む] うーん、 「関西」[タイ語的に発音する]あたりで広がった 派なんですか。「江戸」[タイ語的に発音する]時 代からです。それに、		
246	三味線といっしょに演奏されることが多かったようです。	เมื่อ[文全体を黙って読む] ดูเหมือนว่าจะมีการ ผสมโดยท่วงทำนอง สามิเสน[日本語で発話する][「三味線」のこと] ค่อนข้างแน่นอน	えーと[文全体を黙って読む]、「さみせん」[「三 味線」のこと]と組での演奏がかなり多かったよう に見えます。		
247				うん。	
248	●山田流	เมื่อ แล้วก็อันนี้ก็จะว่า 山田[日本語で発話する] นะ	えー、それからこれはおそらく「山田」です。		
249				うん。	
250	江戸時代、おもに関東を中心にひろまりました。	สายของ 山田[日本語で発話する] ก็คือในสมัย 江戸[タイ語的に発音する] ก็ [「おもに関東を中心にひろまりました」の部分 を黙って読む] แพร่หลายไปแถบ 関東[タイ語的に発音する] นะ แล้วก็	山田の派は「江戸」[タイ語的に発音する]時 代に[「おもに関東を中心にひろまりました」の部 分を黙って読む]、「関東」[タイ語的に発音する] のあたりで広まりました。それから、		
251	はじめは歌を中心とした音楽だったようです。	[文全体を黙って読む] ดูเหมือนว่าสมัยก่อน คือที่เริ่มแรกนี่จะเป็นเพลงสำหรับ การร้องเพลง ประมาณนั้นแหละ	[文全体を黙って読む] はじめる前の時代、はじめ のころは、重視していたのは、歌謡、歌を取っ た、たいたいそうしたもののように見えます。		
252				うん。	
253	事曲の有名な曲	เพลงที่มีชื่อเสียงของ 事曲[日本語で発話する] ก็คือ[笑う]	「事曲」の有名な曲というと[笑う]。		
254				[笑う。]	
255	『六段』『みだれ』『千鳥の曲』などがあります。	อันนี้ ろくだん[日本語で発話する] หรือแปลว่า	これは、「ろくだん」なのでしょう。		
256				ああ。	
257		แล้วก็ みだれ[日本語で発話する] แล้วก็ คือ [「千鳥の曲」を黙って読んでいる。] เมื่อ ち ちつる[「千鳥」を読もうとした][日本語で発話 する] หรือแปลว่า ไม่แน่ใจเหมือนกัน เพลงของ ว่า อันนี้[「千鳥」のこと] คำอะไร とり[日本語で発話する] นะ แล้วก็ไม่แน่ใจ เหมือนกันว่า	それと「みだれ」、それと、うーん、[「千鳥の曲」 を黙って読んでいる。] えー、ち、ちつる[「千 鳥」を読もうとした]なのでしょう、同じはっきり しません、の歌、わー、これは[「千鳥」のこと]何 の「とり」の字ですか、それにはっきりしないの は、		
258				うん。	
259		อ่านว่าจะไร ก็เป็นเพลงเหล่านี้ เป็นตัวอย่างของ เพลงนะ	なんと読むかです。まあ、これらの曲は、曲の例 です。		
260				はい。	
261		เรื่องดนตรีเอา ถึงเครื่องนี้แหละ	音楽の話、ここまでいいです。		
262				はい。	
263		[笑う。] นอกจาก[「長かった」の意味]	[笑う。]とでも多かった[「長かった」の意味]で す。		
264				はい。	
265		คะ	はい。		